

# 予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：老人福祉費

## 事業名 喀痰吸引等研修事業費 (地域医療介護総合確保基金(介護分))

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 高齢福祉課 事業者指導係 電話番号：058-272-1111(内3469)

E-mail : c11215@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 877 千円 (前年度予算額： 877 千円)

### <財源内訳>

| 区分  | 事業費 | 財 源 内 訳 |         |         |         |     |     |     |         |
|-----|-----|---------|---------|---------|---------|-----|-----|-----|---------|
|     |     | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 877 | 0       | 0       | 0       | 0       | 0   | 877 | 0   | 0       |
| 要求額 | 877 | 0       | 0       | 0       | 0       | 0   | 877 | 0   | 0       |
| 決定額 |     |         |         |         |         |     |     |     |         |

### 2 要求内容

#### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

社会福祉士及び介護福祉士法の改正により、一定の研修を修了した者についてはたん吸引等の医行為が実施できるとされた。これを受けて、介護職員が安全に医行為を実施できるようにする研修体制を整備するため、地域医療介護総合確保基金を活用し、研修指導者(指導看護師)を養成する。

#### (2) 事業内容

平成24年までに指導者養成研修(国事業)を受講した者及び令和6年度までに県が実施した指導者養成研修修了者が講師となり、研修指導者を養成する。

(実施回数：年2回、受講予定者数：80名程度)

(3) 県負担・補助率の考え方  
地域医療介護総合確保基金 10/10 (国2/3 県1/3)

(4) 類似事業の有無  
無

3 事業費の積算 内訳

| 事業内容    | 金額  | 事業内容の詳細               |
|---------|-----|-----------------------|
| 報償費     | 378 | 研修講師に対する謝金            |
| 旅費      | 52  | 研修講師に係る旅費、職員の業務旅費     |
| 需用費     | 40  | 研修の教材に係る消耗品費          |
| 役務費     | 39  | 研修受講決定通知の発送等にかかる通信運搬費 |
| 使用料・賃借料 | 368 | 研修機材及び研修会場の借り上げ料      |
| 合計      | 877 |                       |

決定額の考え方

# 事 業 評 価 調 書 (県単独補助金除く)

|  |
|--|
| <input type="checkbox"/> 新規要求事業            |
| <input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業 |

## 1 事業の目標と成果

### (事業目標)

#### ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

介護職員が安全に医行為（喀痰吸引等）を実施できるための研修体制を整備するため、実地研修を実施できる指導看護師を養成する。

### (目標の達成度を示す指標と実績)

| 指標名                      | 事業開始前<br>(H23) | R5年度<br>実績 | R6年度<br>実績 | R7年度<br>目標 | 終期目標<br>(R8) | 達成率           |
|--------------------------|----------------|------------|------------|------------|--------------|---------------|
| ①指導者養成<br>研修受講者数<br>(累計) |                | 0人         | 713人       | 780人       | 870人         | 970人<br>80.4% |

### ○指標を設定することができない場合の理由

### (これまでの取組内容と成果)

|                       |  |
|-----------------------|--|
| 令<br>和<br>4<br>年<br>度 | 令和4年11月に開催 36名修了<br>(コロナウイルス感染症の感染拡大により年1回の開催となる)  |
|                       | 指標① 目標：658 実績：654 達成率：99.4 %                       |
| 令<br>和<br>5<br>年<br>度 | 令和5年6月および12月に開催<br>59名修了（6月開催：22名修了、12月開催：37名修了）   |
|                       | 指標① 目標：730 実績：713 達成率：97.7 %                       |
| 令<br>和<br>6<br>年<br>度 | 令和6年9月および令和7年3月に開催<br>67名修了（9月開催：37名修了、3月開催：30名修了） |
|                       | 指標① 目標：970 実績：780 達成率：80.4 %                       |

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

#### ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

|   |   |
|---|---|
| (評価)<br>3   | 介護職員による医行為(喀痰吸引等)は介護サービス利用者からのニーズがあり、それを安全に行うための研修体制を整備することの必要性は高い。 |
| ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)                                      |   |
| 3：期待以上の成果あり<br>2：期待どおりの成果あり<br>1：期待どおりの成果が得られていない<br>0：ほとんど成果が得られていない |   |
| (評価)<br>2   | 指導者養成研修を通じて指導看護師を育成したことにより、介護職員が安全に医行為を実施できるための研修体制が整備された。          |
| ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)  |   |
| 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている   |   |
| (評価)<br>1   | 介護保険施設に対して周知を行い、参加者の募集を行っている。                                       |

### (今後の課題)

#### ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

喀痰吸引を必要とする高齢者、障がい者等は増加しており、今後も指導看護師を要請する必要がある。

### (次年度の方向性)

#### ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

引き続き指導者養成研修を実施し、喀痰吸引等の実地研修が実施できる指導看護師を養成していく。

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント  
又は事業名及び所管課  
組み合わせて実施する理由  
や期待する効果など

【○○課】